



平成 27 年 10 月 8 日  
港湾局 海岸・防災課  
危機管理室

## 『日 ASEAN 港湾保安専門家会合』の結果報告について

国土交通省は、9月29日(火)から9月30日(水)まで、マレーシア・プトラジャヤにおいて「日 ASEAN 港湾保安専門家会合」を開催いたしました。本会合は、第10回日 ASEAN 交通大臣会合において承認された「日 ASEAN 港湾保安向上行動計画」に基づき、ASEAN における港湾保安対策の向上を目的として国土交通省が実施しているものです。結果は下記のとおりです。

### 記

#### 1. 日時・場所

平成 27 年 9 月 29 日(火) 港湾保安模擬監査

(クラン港ウエストポート)

9 月 30 日(水) 日 ASEAN 港湾保安専門家会合

(The Ministry of Transport(プトラジャヤ))

#### 2. 参加者

ブルネイ、カンボジア、インドネシア、マレーシア、ミャンマー、フィリピン、シンガポール、タイ、ベトナム及び日本の港湾保安の専門家並びに海事保安関連コンサルタント等計 24 名が参加。日本からは国土交通省港湾局海岸・防災課首席港湾保安管理官が座長として参加。

#### 3. 主な内容

##### (1) 港湾保安模擬監査

クラン港ウエストポートにて机上模擬監査を実施しました。

机上模擬監査においては保安措置実施記録の確認などを中心に模擬監査を実施し、参加者間で意見交換を行った結果、ASEAN 各国の保安能力の向上に寄与することができました。

##### (2) 港湾保安専門家会合

###### ① 「ASEAN モデル監査トレーニングプログラム」に関する討議

2010年に作成された「ASEAN モデル監査トレーニングプログラム」が現在でも有効であり、引き続き各国の監査において活用されるべきであることが確認されました。

###### ② 「ASEAN モデル ToT プログラム」に関する討議

・参加者より、自国における ToT(Training of Trainers: 研修講師育成)の現状について発

表がなされ、「ASEAN モデル ToT プログラム」を作成するにあたり必要な項目、内容の討議を行いました。討議の結果をとりまとめ、「ASEAN モデル ToT プログラム」を作成します。

③ 新しい「日 ASEAN 港湾保安向上行動計画」について

参加者より、現在の「日 ASEAN 港湾保安向上行動計画」期間終了後も本会議が継続されるべきであり、新たな「日 ASEAN 港湾保安向上行動計画」の作成が必要であるとの意見が出されました。引き続き討議を行い、「日 ASEAN 港湾保安向上行動計画」を作成します。

④ 次の日 ASEAN 港湾保安専門家会合

次回会合は平成 28 年下半期に日本での開催を希望する意見が多数ありました。



日 ASEAN 港湾保安専門家会合出席者



港湾保安専門家会合

(参考)

- 「日 ASEAN 港湾保安向上行動計画」では、日 ASEAN で連携して取り組む港湾保安対策として、「研修講師の確保に向けた取組」及び「監査の強化に向けた取組」を実施することとしています。具体的には、2016 年を目標に、前者においては、ASEAN 各国において港湾保安対策に関わる人材育成を全国レベルで質・量の両面で確保するための「ASEAN モデル ToT プログラム」を、後者においては、模擬監査を含めた監査人材育成を行った上で、「ASEAN モデル監査トレーニングプログラム」を改訂することとしています。
- 「模擬監査」とは、実地及び机上で実施し、事前に作成したシナリオに基づいた監査(立入検査)を行うことで、監査の手法や観点等について ASEAN 各国の参加者が自国の監査方法との比較等を行い、今後の自国の監査の際に参考にするとともに、各国の監査上の課題等を明らかにし、「ASEAN モデル監査トレーニングプログラム」に反映させることを目的としています。

(問い合わせ先)

港湾局海岸・防災課危機管理室 杉村、豊岡  
TEL: 03-5253-8111 (内線 46-284、46-285)  
直通: 03-5253-8070  
FAX: 03-5253-1654